

自然観察会報告書

日 時	2012年9月2日(日) 9:00~11:40	天気	曇りのち晴れ
場 所	富田山公園文化広場近くの河原・祖父江緑地公園南の交差点横の空き地		
参加者	3人(近藤、水野、櫛田)	記録	櫛田
ルート	富田山公園文化広場近くの河原 → 祖父江緑地公園南の交差点横の空き地		
観察内容	<ul style="list-style-type: none"> ・文化広場の駐車場から堤防を降りて、イタセンパラのパトロールで歩いたところを観察した。今は、草丈が高く、草で覆われた通路になっている。 ・オオイヌタデが背丈ほども伸びて花をつけている。その下にマメアサガオやノブドウがからんで花や実をつけていた。ノブドウの実はまだ青い。 ・アキノエノコログサ、コツブキンエノコロ、キンエノコロ、エノコログサが生えていてその違いを確かめながら観察した。 ・センニンソウやガガイモ、ビナンカズラ、イシミカワなどつる植物が目立っている。 ・ヤブマオらしき草が見られたが、葉がどうも細い。ナガバヤブマオとわかった。 ・アレチハナガサより葉が細い草は、ヤナギハナガサという。 ・ヤハズソウとマルバヤハズソウの葉の違いが観察できた。 ・チャバネセセリとイチモンジセセリの模様の違いを観察した。 ・ネナシカズラはマメ科植物に寄生するつる植物だが、堤防から草地に入る入り口付近でよく見られた。 ・ナガコガネグモは縦にかくれ帯をつくる。 ・釣りに来ている人あり。フナねらいだそうだが、タモロコがとれていた。 ・ジャコウアゲハとホソオチョウはともにウマノスズクサを食草にしている。祖父江緑地公園南の交差点横の空き地ではその両方が見られる。ホソオチョウは指定外来種であり、ジャコウアゲハが減っていかないよう見守る必要がある。 		
その他の生物	<p>花 マメアサガオ、ツユクサ、ツルマメ、ミソハギ、ヒメムカシヨモギ、ガガイモ、ナガバヤブマオ、コセンダングサ、ホウキグサ、ビナンカズラ、ナガバノアキノウナギツカミ、イシミカワ、ヒナタノイノコズチ、キツネノマゴ、ミゾソバ、アリタソウ、ヤナギハナガサ、イヌホオズキ、シロザ、マルバヤハズソウ、ヤハズソウ、ヘクソカズラ、メヒシバ、ヤマノイモ、アレチヌスビトハギ、オオフタバムグラ、メリケンムグラ、カヤツリグサ、カワラスガナ、ツルヨシ、サデグサ、タチスズメノヒエ、ヌカキビ、チョウジタデ、アレチマツヨイグサ、オオニシキソウ、マルバルコウ、</p> <p>虫 クロアゲハ、マメコガネ、ヒメジャノメ、シオカラトンボ、オオスズメバチ、ハグロトンボ、ヤマトシジミ、アオイトトンボ、ベニイトトンボ、コガネムシ、イナゴの仲間、ショウリョウバッタ、トノサマバッタ、クルマバッタモドキ、キタキチョウ、モンキチョウ、ヒメギス、</p> <p>その他 サツマノミダマシ、イヌトクサ</p>		
感 想	<ul style="list-style-type: none"> ・富田山公園文化広場近くの河原は植物の種類も多く興味深い場所である。 ・乾いた土のあるところには、バッタがたくさんいて足元からどんどん跳んで面白い。 ・残暑が厳しい日々が続いているが、初めのうちは曇っていて観察しやすかった。 		